

2023年6月9日

各位

株式会社 北陸銀行

カーボンニュートラルガスの導入について ～ CO2 排出量削減に向けた取り組み ～

北陸銀行（頭取 中澤 宏）は、脱炭素に向けた取り組みとして、2023年6月よりカーボンニュートラルガス（以下、CN ガス）を、金沢エナジー株式会社（代表取締役社長 高井 郁大、金沢市）と契約し導入いたします。

金沢エナジー株式会社の契約企業としては、金融機関では初の契約であり、また富山県本社企業としても初の契約となります。

ほくほくフィナンシャルグループは、2021年2月に環境方針の制定・公表を行い、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD（注1））へ賛同を表明いたしました。2030年度までのCO2排出量の削減目標を2013年度比46%としており、本件はこれらの方針に基づいて温暖化防止への取り組みの一環として実施するものです。

これまで、富山県営水力発電所から生み出される電力を活用する「とやま水の郷でんき」や、太陽光発電所「ほくほくソーラーパーク（現在建設中）」など、再生可能エネルギーの導入を促進しており、CN ガスの導入は、富山県内施設に続き、石川県で2拠点目となります。

今後もCO2排出量削減に向けた取り組みを推進し、持続可能な地域社会の発展に貢献してまいります。

記

1. 内容

| | |
|------|---|
| 概要 | 原料の天然ガスの採掘から消費に至るまでの全工程で発生するCO2等の温室効果ガスを、森林保全などの別の取り組みによって相殺（カーボンオフセット）し、発生するCO2を実質的にゼロとみなすCNガスを購入して、脱炭素社会の実現に貢献。 |
| 開始日 | 2023年6月 |
| 対象施設 | 金沢市内9支店（金沢支店、金沢中央支店、金沢問屋町支店ほか） |

2. 本件によるCO2排出量の削減効果

年間112.2トン（検討時点の直近1年間の実績を基に算出）

杉の木で約12,800本（注2）のCO2吸収量に相当。

3. 該当するSDGsの目標



SDGsは Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。
ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

注1：Task Force on Climate-related Financial Disclosures：2015年12月に金融安定理事会(FSB)

が設立した国際的な支援組織。低炭素社会への円滑な移行のために、気候変動関連リスク・機会の評価と財務への影響の開示を行うよう提言している

注2：出所：林野庁HP

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
北陸銀行 経営企画部 広報 CSR グループ TEL(076)423-7111